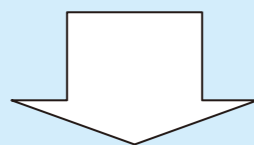


# 長文の意味理解が苦手な児童の指導(1)

## アセスメントの実施

### 「文字の読み書きチェックリスト」 (通級指導学級版・通常の学級版)等の実施

- 1 音読では、単語の読み間違いが多い。
- 2 漢字や読み慣れない言葉を読むことが難しい。
- 3 語句の意味を理解したり文章の内容を理解したりすることが難しい。
- 4 長文を読みながら内容を理解することが難しい。

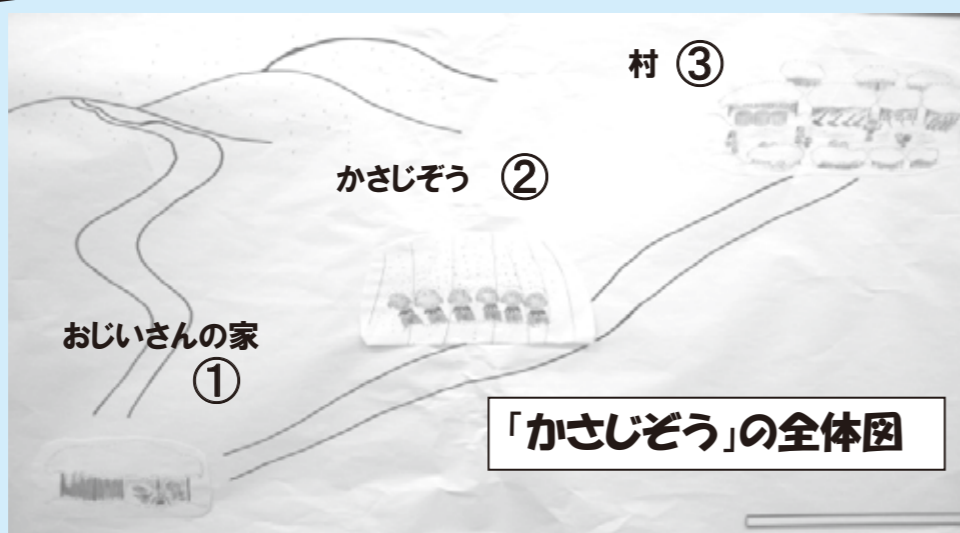


## 指導目標

★文章全体のストーリーや要旨を理解できるようになろう！

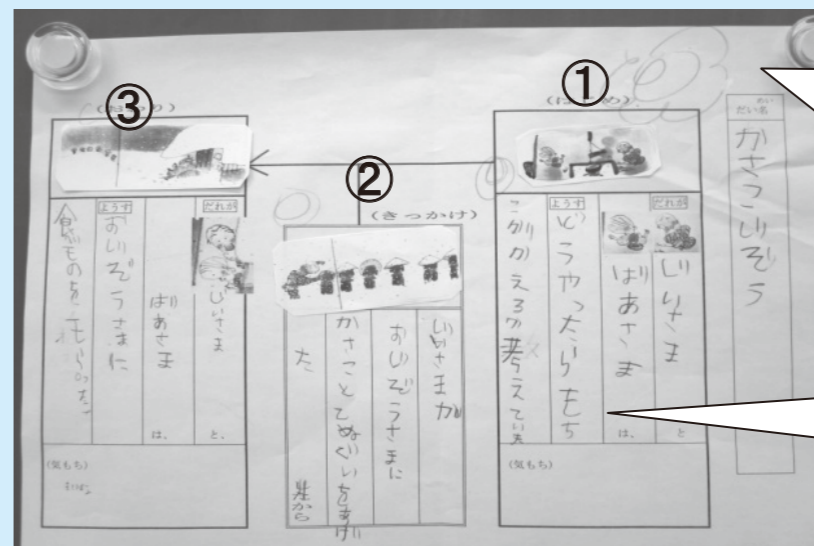
## 物語のあらすじを「見える化」

★指導の手だて＝物語全体（かさ地蔵）の視覚化



◆物語全体のあらすじの図示  
物語に登場する主要人物や、地理関係等を1枚の絵に「見える化」して、物語の全体像をおおまかに把握させます。

## 教科書の挿絵を活用したワークシートの工夫



①文章の構成が分かるように、挿絵をカードにして並べ、はじめ・なか・おわりが分かるようにしました。

②挿絵の様子を短文で書くことで、文章全体の内容を捉えられるようにしました。



## ストーリーに沿って挿絵を並べる

◆挿絵を順番に並べて、絵に描かれている様子を見てお話を  
作る学習をしました。



## 指導の成果

★物語や説明文の内容の「見える化」は、意味理解を助けることに大変に役立ちました。  
★在籍学級では、児童が内容を理解している読みやすい箇所を学級担任が指名する配慮をすることで、学習に意欲的に参加するようになりました。

◆内容の「見える化」は、障害のない児童の長文読解の指導の際にも、有効な手だてだと思われます。

